みやぎ県議会だより

平成30年
6月定例会特集

第126号

編集・発行　宮城県議会広報委員会
TEL 022(211)3592
〒980-8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号

第364回宮城県議会（6月定例会）は6月18日から7月4日まで17日間の会期で開かれた。「宿泊税」を含めた観光施策の財源確保策を検討する「県観光振興財源検討会議（仮称）」の設置条例案など43議案を原案通り可決した。一般質問では東日本大震災の被災者支援や復興事業、観光、1次産業振興など、復興の先を見据えた県政の姿について活発な質疑が交わされた。

気仙沼・防潮堤高施工ミス　経緯、責任など追及

「住民要望 最大限対応を」

６月定例会の本会議

気仙沼市内湾地区（魚町）の防潮堤高を県が誤って施工した問題で議員は「県、市、住民の信頼関係に基づいて取り組むべき問題。今後の対応策を含め、住民からの要望に最大限応えるべきだと思うがどうか」と知事の考えを求めた。

知事は「県の対応が住民の皆さまの思いを受け止めていないと感じさせる結果となり、気持ちを傷つけたことを誠に申し訳なく思う」と陳謝。「住民の『将来に禍根を残すことなく、早期に魚町に戻り、海の見える生活がしたい』という思いに最大限に応えられる新しい案を示せるよう準備を進めている」と述べた。

議員は「責任の所在についてはどうか」と質問。農林水産部長は「県、設計業者、施工業者のいずれにも過失があると考えている。専門家と相談しながら責任割合について検討していく」と答えた。

議員からは「新しい提案があってもこれまでの県の姿勢や知事の発言への住民の不信感は強い。信頼関係の回復が無い中では困難ではないか」との指摘もあった。知事は「住民の声に真摯に耳を傾け、新しい案がご理解いただけるよう誠意を持って対応していく」と答えた。

みやぎこども育英基金　使途弾力化を検討

東日本大震災の被災者支援で親を失った子どもに奨学金を支給する「みやぎこども育英基金」の運用について議員は「奨学金や卒業一時金の引き上げなど、見直しを行う時期ではないか。交通事故や海難事故など震災以外の遺児孤児に対しても基金を活用して支援を強化すべきではないか」と質問した。

これに対し知事は「震災から7年が経過し、基金の使途を見直すことにした。特に奨学金については、震災遺児・孤児が希望する進路の選択ができるように、対象者のニーズ把握や各種統計データの検証を行い、給付金の増額を含む制度の拡充を検討する」との考えを表明した。震災以外の遺児・孤児への拡充も併せて検討する。

観光ガイド育成に力

DMOと連携　リピート率向上へ

観光施策で議員は「昨年、県内を訪れた観光客は過去最多となった。沿岸部の回復を含め、見解と分析は」と質問。経済商工観光部長は「県内全体で過去最高の6229万人に達した。ほぼ全ての圏域で増加し、気仙沼圏域では前年比約30%増えた」とした上で「夏と冬に行った観光キャンペーン、沿岸部に新たにオープンした観光集客施設などが要因と考える」と答えた。

議員は「観光ガイドがリピート率を左右する。育成に力を入れるべきだ」と指摘。経済商工観光部長は「これまでも人材の底上げを図ってきた。仙台・松島復興観光拠点都市圏DMOをはじめ、県内各DMOとも連携し、優れたガイドの育成に取り組む」と述べた。

一般住宅に旅行者らを有料で泊める「民泊」を解禁する住宅宿泊事業法（民泊新法）の施行を受け、議員は「グリーンツーリズムや農泊が注目されるが、県内申請数と現状をどう見るか」と質問。農林水産部長は「（6月）22日時点で15件だが、継続的に相談が寄せられている。今後の需要を見据えているのではないか」との見方を示した。

蔵王の登山環境整備で議員は「外国人観光客にも対応した恒久的トイレが必要ではないか」と質問。経済商工観光部長は「蔵王エコーライン沿いにある県管理の公衆トイレ3カ所で洋式バリアフリー改修を本年度から順次行う。登山道については携帯トイレ使用ブースの設置などを検討していきたい」と答えた。

「宿泊税」を含めた観光施策の財源確保策を検討する「県観光振興財源検討会議（仮称）」について議員からは「具体的な観光戦略が不明のまま財源確保だけを諮問する会議のあり方は本末転倒ではないか」との指摘があった。知事は「3月に策定した第4期みやぎ観光戦略プランは3カ年が計画期間であり、誘客拡大と関連産業振興を進めるために安定的な財源確保が必要で、検討会議を設置するものだ」と答弁した。

議決した議案等

意見書＜4件＞

○放課後等デイサービス事業の存続を図るための緊急対応を求める意見書
○ヘルプマーク及びヘルプカードのさらなる普及推進を求める意見書
○地方財政の充実・強化を求める意見書
○地方消費者行政に対する財政支援の継続・拡充を求める意見書

可決・承認・同意した知事提出議案＜39件＞

○宮城県県税条例等の一部を改正する条例
○病院及び診療所の人員及び施設に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
○職業能力開発校条例の一部を改正する条例
○工事請負契約の締結について（女川オフサイトセンター（仮称）災害復旧工事）
○専決処分の承認を求めることについて（上告の提起及び上告受理の申立て）
○建築基準条例の一部を改正する条例
○公安委員会委員の任命につき同意を求めることについて　ほか

採択した請願＜1件＞

○地方消費者行政に対する財政支援（交付金等）の継続・拡充を求める意見書を国会等に提出することを求めることについて

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

質問者と主な質問項目

○一般質問（16人）

▽渡辺忠悦（無所属の会）農林業と農山村について▽仁田和廣（自由民主党・県民会議）福祉政策について、河川改修について、仙台塩釜港について▽守屋守武（自由民主党・県民会議）魚町地区海岸防潮堤の対応について、宮城県のスポーツ振興の取り組みについて、復興事業のすき間対策について、国際リニアコライダー東北誘致の取り組みについて▽太田稔郎（みやぎ県民の声）宮城移住・回帰・定住について、農業の振興について、教育の課題について▽横山隆光（自由民主党・県民会議）宮城県の果樹農業の振興について、蔵王の登山環境整備について、少子化対策について、宮城県管理ダムを活用しての水力発電について▽角野達也（日本共産党宮城県会議員団）気仙沼漁港魚町地区防潮堤の施工ミスについて、心身障害者医療費助成制度の拡充について、障害者スポーツの振興について▽庄田圭佑（自由民主党・県民会議）家庭教育支援の拡充について、県政の諸課題について▽遠藤隼人（自由民主党・県民会議）安心・安全な県民生活について、我が県のスポーツ振興について、我が県の観光への取り組みについて▽境恒春（みやぎ県民の声）放射光施設の誘致及びEV・水素戦略について、気仙沼市と南三陸町が抱える復興の諸課題等について、AIを活用した行政運営と産業の高度化支援について▽安部孝（自由民主党・県民会議）松島湾ダーランド構想と観光振興について、宮城県の環境政策と富県宮城について、県政の諸課題について▽村上智行（自由民主党・県民会議）震災復旧・復興の諸課題について、仙台空港周辺活性化・運用時間延長等について、県財政運営について▽遠藤いく子（日本共産党宮城県会議員団）大川小学校訴訟の上告問題について、学校防災の確立について、大震災資料の収集・保存・利活用について、被災者の生活再建と遺児・孤児への支援について、上工下水一体官民連携の問題点について、宿泊税導入について▽畠山和純（自由民主党・県民会議）気仙沼市内湾防潮堤について、沿岸漁業について、唐桑最短道の整備促進について▽伊藤和博（公明党県議団）国際リニアコライダー誘致について、みやぎIJUターン就職支援について、安心して暮らせる宮城の実現について▽本木忠一（自由民主党・県民会議）大川小惨事・上告事案について、津波防災ミュージアムの整備について、「水産特区」の検証について、地方議員の確保・投票率の向上について▽天下みゆき（日本共産党宮城県会議員団）女川原発再稼働と避難計画について、「会計年度任用職員」導入について、視覚障害教育について、離島の介護保険サービスへの支援について

園芸作物 生産拡大を

水産　アカモクなど産業化提案

1次産業振興で議員は「園芸生産物の生産拡大には顧客が求めるものを生産、販売するマーケットインの考え方が大切。消費者ニーズの調査、産地・作物選定の方法、具体的戦略はどうか」と質問した。

農林水産部長は全農県本部などの実需者向けフェアや消費者アンケートを行い、ニーズを把握して生産者に伝達している事例を紹介。「加工・業務用野菜の需要が伸びている。圏域を越えて産地が連携し、実需者との協議会を作るなど安定出荷に取り組んでいる」などと説明した。

ワインと県産農林水産物のマッチングによる加工品開発などを推進する「みやぎマリアージュ推進プロジェクト」にも「事業の進め方をどう考えるか」と質問があった。農林水産部長は「県産ワインと農林水産物のファンづくり、ワイナリーを核とした都市農村交流の推進と情報発信などに取り組む。新しい6次産業化のモデルとして地域に定着することを目指し、取り組みを進めたい」と答弁した。

水産業振興では「需要が増えているアカモク、食味の評価が高いトラウトサーモンを県が主導して新たな養殖品目として産業化に取り組むべきではないか」と提案、質問した。

アカモクについて農林水産部長は「他の海藻類への影響の確認や近隣で他の養殖を営む漁業者、漁船漁業者の理解が必要になる。漁協などからも意見を聞き、検討していきたい」と答弁。トラウトサーモンについては「県には生産量、評価も高いギンザケ養殖があるが新たにトラウトサーモン養殖を希望する声もうかがっている」と述べ、検討していく姿勢を示した。

部活指導員制度 活用状況ただす

スポーツ振興で議員は「（教員に代わり部活指導や大会への引率に当たる）部活動指導員の市町村における活用状況と県スポーツ指導者協議会への働きかけ状況はどうか」と質問。教育長は「現時点では、美里町が中学校に1人配置する予定。指導者協議会に部活動指導員制度の説明や情報提供を行い、人材確保の支援に努める」と答えた。

地域スポーツでは「スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなど、地域と連携してスポーツの機会を提供する組織をどう構築していくのか」との質問があった。知事は「少子化による学校統廃合などもあり、変革すべき時期にある。スポ少など地域スポーツ団体と学校が連携し、子どもたちがスポーツをする環境整備に県教委とともに努力する」との見解を示した。

障害者スポーツ施設整備求める

福祉施策で議員は「県障害者総合体育センターはノーマライゼーションの考えからすると不十分。利用料が安く、どんな障害者スポーツも行える施設を優先的に整備すべきではないか」と質問。保健福祉部長は「利用時間延長やオストメイト対応トイレ設置など利便性向上に努めてきた。周辺地域の体育施設の整備状況を踏まえ、関係団体の意見を聞くなどしてさまざまな角度から検討したい」と答えた。

特別支援学校の狭隘化対策では「仙台圏の支援学校で児童生徒の増加が著しい。県立高校の空き教室を利用した分級整備の検討も必要と考えるがどうか」と質問。教育長が「小中学校だけではなく県立高の空き教室などを活用した分校の設置について検討していく」と答弁した。

心身障害者医療費助成制度では「制度の対象に精神障害者を含めるべきではないか」との提言もあった。

常任委員会

今定例会での主な審査議案は次のとおり。

○総務企画委員会　**審査議案**　宮城県県税条例等の一部を改正する条例など６議案
○環境生活農林水産委員会　**審査議案**　財産の取得について（放射性物質濃度測定装置（大気モニタ等）一式）など８議案及び請願１件
○保健福祉委員会　**審査議案**　指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例など３議案
○経済商工観光委員会　**審査議案**　観光振興財源検討会議条例など２議案
○建設企業委員会　**審査議案**　工事請負契約の締結について（女川町道女川出島線出島大橋（仮称）新設工事）など15議案
○文教警察委員会　**審査議案**　専決処分の承認を求めることについて（上告の提起及び上告受理の申立て）など３議案及び請願５件

大震災復興調査特別委員会

大震災復興調査特別委員会は、４月24日に東京電力ホールディングス株式会社福島復興本社副代表などから原発事故に起因する損害賠償の概要や今後の方針等について意見を聴取した。また、６月25日には、被災市町等への調査などで浮き彫りになった復旧・復興に関する諸課題について、土井亨復興副大臣や宮城復興局と意見交換を行った＝**写真**＝。

議長記者会見

６月定例会閉会日の７月４日、中島源陽議長が記者会見を行った。

会見の初めに、大阪府北部の地震で被災した大阪府議会へ県議会からお見舞い金を渡す考えを示した中島議長は、６月定例会を振り返って「東日本大震災以降、初めて予算議案のない定例会ということで、少し短めの会期であった。

本会議や委員会では、多くの議員が気仙沼市内湾地区防潮堤の施工問題や大川小学校国家賠償等請求控訴事件に関して取り上げていた。また、水産特区の検証や観光財源の検討会設置条例についても、さまざまな面で議論が交わされたと思っている。

復興は途上であり、大震災復興調査特別委員会の活動を含め、議会全体でしっかり取り組んでいきたい」と述べた。

また、羽生結弦選手に歴代最年少の国民栄誉賞が授与されたことについて、その人柄に触れ、ますます応援したいとの思いを強く持ったと語った。

県議会からのお知らせ

●若者と宮城県議会議員との意見交換会

県議会では、若者の皆さんに県議会を身近に感じていただくため、「若者と宮城県議会議員との意見交換会」を開催します。奮ってご参加ください。

・日時／11月７日（水）午後１時30分～３時30分
・場所／県議会庁舎
・内容／意見交換会（テーマ：宮城県政に期待すること）、議会施設見学
・募集人数／８人（応募多数の場合は抽選）
・対象／10月１日現在で満18歳から30歳までの県内在住の方
・締切／８月31日（金）郵送の場合、当日消印有効
・詳細はホームページ（ＨＰ）をご覧ください。

●ラウンジコンサート

県議会では、年４回の定例会開会日に「ラウンジコンサート」を開催しています。入場は自由ですので、ぜひご来場ください。

◇次回コンサートの開催予定
・日時／９月18日（火）午後０時15分～45分
・場所／県議会庁舎１階ラウンジ
・出演／SOUTH SEA J•B BAND（楽器演奏、フラダンス）

◇コンサート出演者募集
・時期／平成30年11月、平成31年２月
・条件／無料出演（ピアノ以外の楽器は持ち込み）演奏ジャンル、プロ、アマチュアなど資格は問いません。
・締切／８月17日（金）（必着）
・詳細はＨＰをご覧ください。

●傍聴のご案内

本会議、各委員会は手続きの上、傍聴できます。

▷お問い合わせ先　宮城県議会事務局総務課TEL022（211）3571

●ホームページのご案内

定例会の日程や会議録、議会中継等をご覧いただけます。

宮城県議会　検索

●議会中継のご案内

スマートフォンやタブレット端末で議会中継をご覧いただけるようになりました。QRコードのアクセスはこちらから

「みやぎ県議会だより」へのご意見・ご感想をお寄せください
宮城県議会事務局政務調査課
〒980－8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号
TEL022(211)3592　FAX022(211)3598
Ｅメール　gtyosas@pref.miyagi.lg.jp